

研究に関するお知らせとご協力をお願い

2022年2月15日

横浜医療センター救急・総合診療科では、下記の研究を行います。この研究は条件を満たす患者さん全員を対象といたします。もし、この研究への参加を希望されない場合には、対象とはいたしませんので、お問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、診療を受ける上で不利益を被ることはございませんのでご安心ください。

■研究名

『当院における外傷診療に関する検討』

■研究責任者

独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター 救急・総合診療科
医師 望月 聡之

■研究分担者

独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター 救急・総合診療科
医師 古谷 良輔（救命救急センター センター長）
医師 宮崎 弘志（医療管理部長）
医師 大塚 剛（救命救急センター 副センター長）

■研究の対象となる方

2020年1月1日から2020年12月31日の期間中に、外傷により当院に救急搬送となった患者さん。

■ご協力頂く内容

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則り、個人情報には厳重に保護した状態で行います。

■研究の概要

研究の目的及び意義

当院は、横浜市南西部地域の中核病院であり、重症とされる外傷患者さんを広く受け入れています。これらの患者さんは、複数の臓器において外傷を合併して

いるケースが多くみられ、当院救急・総合診療科にて初期対応を行っています。

現在、横浜市には 2 施設の重症外傷センターがありますが、これらの施設との連携も含めた治療戦略が重要となります。外傷症例の治療戦略について、当院の現状を把握することは有意義であると考え、本研究を計画しました。

研究の期間

2022 年 倫理審査委員会承認日 ～ 2022 年 12 月 31 日

研究の方法

研究の対象となる患者さんに関して、すでに診療録等に記録された下記の情報を収集して解析します。

受傷した部位、受傷の原因、バイタルサイン、当科における処置・治療内容、入院日数、死亡の有無 など

個人情報等の取り扱い

電子カルテシステムから抽出されたデータに、電子カルテを直接閲覧して得られた追加データを入力したのち、連結可能匿名化して解析を行います。

利益相反に関する状況

開示すべき利益相反は特にありません。

研究に関する情報公開の方法

医学に関する学会等にて発表し、最終的に学術論文化します。

その際、データは個人が特定されない方法・内容に限るものとします。

■ 研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応

本研究は、既存の診療録情報を利用した後ろ向き観察研究であり、研究の対象となる患者さんへの、文書や口頭によるインフォームドコンセント取得は困難であるため、相談に対しては個別に対応します。

お問い合わせ先までご連絡ください。

■ お問い合わせ先 ※平日 9 時 00 分 ～ 17 時 00 分

医師 望月 聡之（研究責任者）

独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター 救急・総合診療科

〒245-8575 横浜市戸塚区原宿 3-60-2 電話 045(851)2621（代表）